

採血を受けられる方へ

- 血液検査は、病気診断・病状把握を行うために必要な医療行為です。
- 医療行為の中では比較的安全性の高い手技ですが、まれに合併症が起きることがあります。
- 血液検査の必要性・危険性を十分にご理解いただいた上で採血を受けて頂くようお願い致します。

ご不明な点がある場合は、診察の際に医師等にご相談ください。

合併症等が起きた場合は、速やかに受診医療機関にご連絡ください。

◆ 次に該当する方は、採血前にお申し出ください ◆

- ・ 採血時に気分が悪くなる方
- ・ 消毒薬(アルコールなど)、ゴム手袋(ラテックス)等にアレルギーのある方
- ・ 血液透析中の方
- ・ 乳房切除術を受けられた方
- ・ 血液をさらさらにする薬を服用している方 など

..... 採血時の合併症について

止血困難・皮下血腫

採血後の不十分な止血操作などが主な原因です。採血後は、ご自身で十分な圧迫止血(3～5分程度)をしてください。止血は、もまないで親指でしっかり圧迫してください。抗凝固薬を服用中の方、出血しやすい方は、採血前にお申し出ください。皮下血腫(内出血)がある場合でも、ほとんどが1週間程度で自然に治ります。ただし、痛みが続く場合はご相談ください。

アレルギー反応

消毒薬(アルコールなど)やゴム手袋(ラテックス)により、かゆみや発疹などのアレルギー症状が出現することがあります。症状が出た場合は、ご相談ください。

神経損傷

皮膚の表層近くの神経は個人差があります。そのため、約1万～10万回に1回の頻度で神経損傷が起こることがあります。この症状は一時的な場合がほとんどであり、徐々に改善します。ただし、症状が続く場合はご相談ください。

針を刺したときに手指への強い痛みやしびれが出た場合は、直ちに採血を中止するのでお申し出ください。

血管迷走神経反射

緊張や不安、痛みで起こるとされ、急激に血圧が下がり、めまい(たちくらみ)、意識消失などを起こします。ご経験のある方は、採血前にお申し出ください。